

石川県安全運転研修所の平成18年度管理状況

施設所管課	石川県警察本部交通部運転免許課
指定管理者	(財)石川県交通安全協会 会長 要明 英二
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員全員に対し、応接マナーを徹底 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの実施(延約3,000通) ご意見箱の設置(延23通) 利用者ニーズの反映(研修時間の改善など) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修待ち時間を有効活用するため、安全運転のDVD放映及び動体視力計、夜間視力計を設置 施設内は完全分煙
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者研修の開催(参加人数252人) <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ取材協力 ホームページを開設 「安全運転便利帳」に掲載(延125,000部) 年間諸行事、イベント等に研修所パンフレットを配布(延10,000部) <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型特殊免許取得のためのチャレンジ研修を実施 事業所の新入社員に対するリフレッシュ研修を実施
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用許可の件数((2)参照) 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃 毎日実施</p> <p>保守点検 研修所施設及びコースの設備点検実施</p> <p>小規模修繕 カーテンの張替え等</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを策定し、職員に周知徹底 <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護管理対策を教養し、適切に管理

(2) 施設の利用状況

(人)

	H 1 7 年度 (参考)	H 1 8 年度	前年度比	増 減 理 由
リフレッシュコース利用者数	4,746	3,954	792	企業からの利用者の減少
チャレンジコース利用者数	3,249	3,479	230	
貸コース利用者数	480	226	254	(H 1 7 年度は自動二輪に係る法改正による一時的増加)
原付講習	1,256	973	283	原付免許取得者の減少
計	9,731	8,632	1,099	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減 免 理 由
リフレッシュコース	9,674,300		
チャレンジコース	18,193,900		
貸コース	392,600		
原付講習	1,556,800		
計	29,817,600		

(4) 収支決算

(千円)

収 入		支 出	
管理料	9,872	人件費	35,252
利用料収入	29,818	光熱水費	1,594
		修繕費	467
		委託費	1,494
		その他	3,021
合計	39,690	合計	41,828
収支差額	2,138		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成 18 年 4 月	受験のため、もっと練習したいが、なかなか予約がとれない。	キャンセル待ちを利用するよう教示している。
平成 18 年 6 月	事故の具体例をビデオなどで見てみたい。	研修待ち時間に放映しているDVDを要望に応じて変更している。
平成 18 年 7 月	仕事の為、休日でのリフレッシュ研修をお願いしたい。	土・日も実施していることを教示している。
平成 18 年 12 月	車庫を使用時の死角、シートベルト等の研修が寒い。	風のある日はシャッターを閉め、特に寒い日は教室で対応している。
平成 19 年 1 月	仕事に行く前に研修を受けたい。	3月から研修開始時間を1時間早め、午前8時からに改善した。

感想

年 月	内 容
平成 18 年 4 月	教習所で習った基本的なことを再確認することが出来て良かった。
平成 18 年 5 月	受講前は不安でしたが、内容がわかりやすく落ち着いて聴講できました。
平成 18 年 9 月	タクシーの運転をしているが大変良い経験が出来た。お客さんを乗せる立場として、より一層安全運転に努めたい。
平成 18 年 10 月	体験が非常に参考になった。実践的で良かった。
平成 18 年 11 月	雪道は経験したことがないので、スキッド体験ができて良かった。
平成 18 年 11 月	「酒酔い体験メガネ」をかけてみたら、飲酒運転は危ないなと思いました。
平成 19 年 1 月	80代男性、自分ではまだまだ運転できると思っていたが、非常に危ない運転をしていることに気づくことができた。

事故・故障等

年 月	内 容	対 応
平成 19 年 3 月	能登半島地震の緊急時対応	研修生を安全な場所に誘導し、施設の確認等を行った。

その他報告事項など

特記事項なし。

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	B	・ 利用者からの、意見・要望・感想をアンケートにより把握し、よりよいサービスの向上に努めている。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	・ ホームページの掲載、パンフレットの作成及び各種イベントにおいて広報に努めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・ 事業計画書に基づく適切な維持管理及び修繕が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・ 非常時の対応マニュアル及び連絡体制を定め、職員に周知徹底しており、危機管理は適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・ 業務に関する指導がなされ、交通安全活動における重要な位置づけを認識し、運営されている。
その他必要と認める事項	B	・ 緊急時の対応・安全管理などの危機管理について職員に教育が行われている。 ・ 個人情報の保護管理対策が職員に周知徹底されている。
総合評価	B	・ 施設の設置目的にあった管理運営がなされている。 今後専門的なノウハウを活かした研修及び利用促進を期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である